

平成 29 年 8 月度定例自然観察会報告書

テーマ：「納涼の布引と大龍寺の照葉樹林を観察」

実施日：平成 29 年 8 月 19 日（土）晴れ

担当班：3 班

① コース：新神戸駅（新幹線）～布引の滝～市ヶ原～大龍寺（距離 3.8 km、標高差 330m）

② 時間：

新幹線新神戸駅山側の布引公園集合（出発 9：50）→展望台着（10：30）→市ヶ原着（11：50）市ヶ原災害現場案内板の前で六甲山の水害被害と対策の説明を聞いた後、河原に降りて昼食 →昼食後出発（12：40）→大龍寺到着（13：40）→スダジイの大木を見ながら広場への坂を登り、大龍寺の歴史と照葉樹林について説明を聞いた後、解散（14：00）

③ 参加者：ビジター 38 名、会員 32 名、合計 70 名

（参考：8/12 自主研修は会員 27 名が参加、本日のビジターで遠くは岡山や奈良在住の方が参加されていました）

④ 配布資料：コースマップ（植生名前記入付）

⑤ 説明担当：ビジターを 4 班に分け、各班スタッフ 3 名（説明者・アシスト・誘導）で対応、会員は 1 グループで説明者と誘導者にて対応した。

⑥ 概要と感想

まだまだ暑い陽射しの中を多くの方が集ってくださり有難い観察会となった。

水量が多いすがすがしい布引の滝を眺め、満々と水を貯める布引貯水池の水面を眺めながら樹陰の中を歩くので陽射しは遮られて目には優しい景色が広がり、夏場には最高の観察コースである。

説明担当者は何回も下見を重ね、観察の理解が得られやすいように各自で写真や説明スケッチ・質問形式ゲームを用意するなど工夫を凝らして臨んでいた。今回特にイヌビワとイヌビワコバチの共存関係についての説明に力が入っていたようである。以下、説明のあった植物を列記する。

○布引公園～みはらし展望台：サンゴジュ・トキワツユクサ・ウラジロウツギ・フッキソウ・ムラサキニガナ・カラスザンショウ・アオギリ・カキノキ・ヒトツバ・イヌビワの細葉タイプ・テイカカズラ・ニワウルシ

○展望台～布引貯水池：ニガキ・マユミ・クサイチゴ・センダン・ネムノキ・シナサワグルミ・ノグルミ・アキカラマツ・コマツナギ

○布引貯水池～市ヶ原：クマザサ・アキノタムラソウ・カゴノキ・イヌザクラ・シナアブラギリ・シュウブソウ

○市ヶ原～大龍寺：コマツナギ・ヒメコウゾ・イタドリ・クサギ・メマツヨイグサ・クマノミズキ・メハジキ・キンミズヒキ・クサフジウツギ・イヌホオズキ・アカマツ・アオツヅラフジ・サルトリイバラ・ヤマウルシ・ムラサキシキブ・ヤマハゼ・ムクノキ・イヌビワ・ハゼノキ・イノモトソウ・マメツタ・キブシ・ヤマウコギ・マルバヤナギ・スダジイ

植物以外にも布引断層の話、貯水池に入れる水を仕分ける工夫の分水堰堤、縮切堰堤、放水路トンネル施設の見学、急こう配の六甲山の地形から起きた昭和 13 年の阪神大水害や 42 年の集中豪雨の災害の被害についての説明は、現場を見て聞く話なのでずっしりと皆様の心に響いたことと思う。その後の植林や砂防ダム建設など美しい景観を維持しながら安全対策をとる大事さに関心を持ってもらえたら良いと思う。

最後に大龍寺の樹齢 350 年というスダジイの大木を見てその歴史を聞き、弘法大師ゆかりの地と知ったこともあり、厳かな気分で観察会を終了した。 (文責 龍田)

(観察会の様子の写真)

